

1月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 令和2年1月17日（金）

2、閉会年月日 令和2年1月17日（金）

3、出席委員氏名

西畑 敦司 名倉 幸子 西田 伊作

吉田 義和

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

教 育 長 森 継 隆

事 務 局 長 木 村 昌 訓

事 務 局 次 長 青 木 仁

教 育 総 務 課 長 粕 谷 治

ま な び 推 進 課 長 高 山 仁

ま な び 推 進 課 付 課 長 山 村 結 紀 子

文 化 財 課 長 今 里 美 恵 子

教 育 総 合 セ ン タ ー 所 長 西 田 智 也

図 書 館 長 森 田 三 喜 子

市 民 協 働 ・ 女 性 活 躍 推 進 課 長 石 原 康 司

教 育 総 務 課 庶 務 係 長 中 村 亨

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題 第1号 令和2年度 一般会計歳入・歳出予算

見積もりについて（案）

第2号 令和2年度 天理市教育方針について（案）

第3号 天理市社会教育委員の委嘱について（案）

日程第3 報告 12月市議会定例会の報告について

6、会議の経過議題

開会 午後 2時00分

終了 午後 3時23分

1 教育長

皆様、こんにちは。

ただいまから1月定例教育委員会を開会いたします。

本日の署名委員は、西畑委員と名倉委員にお願いいたします。

まず、日程第1、私からの報告です。

12月ですが、12日に来年度から天理市でも実施されるコミュニティスクールということで、二階堂高校の運営協議会に参加させていただきました。

そして、15日、青少年を守り育てる市民の集いで、小学生、中学生の「わたしの主張」を聞かせていただきよかったですと思います。

21日は、新時代の学びを支える教育長講座が全国3カ所で行われたのですが、近畿では神戸で行われたので行かせてもらいました。兵庫教育大学の教職員大学院の教授で、大津市の教育長をされている日渡先生が講演をされて、そのあとグループワークがありました。半日でしたけれども、大津市の取組を聞かせていただき、違った視点を教えていただく機会になりました。

あとは新年に入りまして、櫛本幼稚園のお茶席、これは地元の大人の方だけのお茶席でした。

13日は成人記念式ということで、皆様にも出席していただきましてありがとうございました。実行委員の子たちが企画してくださり、良い成人記念式にしてくれたと思っています。

何かご質問ございますか。よろしいでしょうか。

では、日程第2 議題に移ります。議題第1号 令和2年度 一般会計歳入・歳出予算見積もりについて（案）の説明を各課からお願い

いたします。では、教育総務課からお願いします。

1 教育総務課長

議題第1号 令和2年度 一般会計歳入・歳出予算案について説明いたします。

本日、議題として提案しているのは、当初の要求ですので、今後財政当局を経て理事者の査定の後、予算額が確定するものですので、ご了承をお願いいたします。なお、本日各課からは大きな増減及び新規事業がある科目を中心に説明します。

それでは、教育総務課分について説明をします。資料4ページです。教育総務課の歳入です。歳入については、まず川西町教育受託事務負担金が受け入れ児童数の増加による増額です。次に諸収入の欄で、給食施設設備賃借料です。給食調理委託業者に設備を貸しているのですが、その部分について、北中学校整備工事の関係で減少がありました。前年度より30万3,000円の減で、1,376万2,000円を計上します。

続きまして、5ページです。歳出です。教育総務事業は、会計年度任用職員制度と教育総務課に建築係が昨年度から増えました関係で、前年度よりも425万5,000円増の644万8,000円の予算要求です。小学校維持管理事業は、会計年度任用職員の交通費の増と、県が進めている統合型校務支援システム委託料の増がありまして、1,413万4,000円増の3億1,730万5,000円の予算要求です。

続きまして6ページです。中学校維持管理事業については、こちらでも会計年度任用職員の交通費の増、統合型校務支援システム委託料等の増がありまして、1,081万2,000円増の1億7,542万9,000円の予算要求です。

幼稚園維持管理事業は、保育サポート産休代替職員が会計年度任用職員に移行することによる予算見直しを行ったための減、会計年度任用職員の交通費の増、預かり保育の拡大による園用備品購入費の増がありまして、480万8,000円の減で、8,327万5,000円の予算要求です。

続きまして、7ページです。建設事業です。小学校整備事業として、丹波市小学校と朝和小学校の屋上防水工事、二階堂小学校給食室改修工事は、今年度に引き続いて行いますので、この部分につきましては7,997万円、中学校整備事業は、北中学校校舎建設事業として2億9,978万7,000円、こちらの北中学校校舎建設事業については、先行工事及び仮設校舎賃貸借料でありまして、令和2年度に行う本体工事は補正予算対応としますので、ここの内訳には入っておりません。南中学校校舎建設事業として3億9,513万7,000円、こちらは本体の整備工事と先行工事、仮設校舎賃貸借料で、それぞれ予算要求いたします。合わせまして、前年度より6億5,572万4,000円の増です。

以上です。

1 教育長

続いて、まなび推進課からお願いします。

1 まなび推進課長

続きまして、まなび推進課の説明をいたします。

まずは、歳入です。分担金・負担金、北中学校夜間学級負担金等ありまして、67万6,000円の減の652万3,000円を計上いたします。

続きまして、使用料・手数料のところ、幼稚園の保育料が無償化になりましたので、その分が減になっています。1,536万1,000円減の402万7,000円を計上しています。

続きまして、国庫支出金について、要保護児童生徒援助費補助金と就園奨励費補助金が必要なくなりまして、一方で子どものための教育・保育給付費負担金、また子育てのための施設等利用給付交付金が新たに発生してまいりましたので、4,035万1,000円増の6,362万2,000円計上しています。

県支出金ですが、こちらも保育料無償化に伴う子ども・子育て支援交付金、子育てのための施設等利用給付交付金が増額になりましたので、2,046万8,000円増の4,449万5,000円計上しています。

続きまして、9ページの歳出です。教育総務事業として、会計年度任用職員の報酬等で121万2,000円増額の2,637万2,000円計上しています。

姉妹都市友好事業については、中学生の派遣事業を計上し、16万4,000円の減の172万1,000円計上しています。

人権教育推進事業は、5万1,000円減の261万6,000円計上しています。

続きまして、小学校運営事業、2,030万の増額となっておりますが、これは教科書が新たに採択されましたので、教師用指導書等の増額分です。それを合わせて3,313万2,000円計上しています。

小学校教育振興事業ですが、27万1,000円の減額の5,526万4,000円計上しています。

中学校の運営事業ですが、85万8,000円の減額の614万1,000円計上しています。

続きまして、10ページです。中学校教育振興事業です。304万9,000円増の4,281万5,000円計上しています。この増の分については、遠距

離通学費の補助金と特別支援教育就学奨励費の補助金と通学バスの補助金がそれぞれ増になっているためです。

続きまして、幼稚園の運営事業です。78万3,000円の増の880万1,000円の計上をしています。こちらについては、預かり保育サポートの謝金の増額があります。長時間預かり保育を現在4園で実施しておりますが、次年度より残りの4園も実施しようということで、預かり保育サポート謝礼が増額になっています。

続きまして、幼稚園の教育振興事業です。5,835万3,000円増の1億1,590万7,000円計上しています。こちらについては、保育料無償化に伴う子どものための施設等利用給付交付金が新たに増になったものです。

以上です。

1 まなび推進課付課長

地域学習係から説明いたします。12ページをご覧ください。社会教育事業です。補助金の見直し等により24万3,000円減の961万9,000円になります。

続きまして、13ページ、1段目です。前年度から事業名を地域とともにある学校づくり推進事業に変更させていただきました。こちらは、学校運営協議会委員の報酬81万円が新規となっています。これにより、94万増額の790万3,000円となっています。

続きまして、教育キャンプ場維持管理事業は、枯木伐採処理業務委託料の増額等により、49万6,000円増額の113万3,000円を計上しています。

以上、まなび推進課地域学習係の説明です。

1 文化財課長

文化財課から、説明をいたします。歳入ですが、国・県の支出金の減は、歳出額の額により変動いたしますので、歳出で予算を削減した分歳入が減るので、その分が減となっています。諸収入ですが、摘要欄の新規と書いている分で、旧福祉センター負担金、旧福祉センター土地貸付収入とございますが、こちらは令和2年度より旧福祉センターの管轄が福祉部より教育委員会の文化財課になったため、旧福祉センターで発掘の遺物を保管させていただいていまして、現在使っているところが管理するようということに令和2年度からなりましたので文化財課で管理をします。そして、歳入の合計は2,736万1,000円を見込んでいます。

続きまして、歳出をご覧ください。文化財保護事業費及び黒塚古墳展示館の維持管理事業費について、会計年度任用職員に移行するための増となっています。

次、16ページをご覧ください。歳入で申しましたように、旧福祉センターの維持管理事業がこちらに移ってきていますので、その分の増があります。

次、埋蔵文化財センター整備事業ですが、埋蔵文化財センターの屋根の劣化により、屋根の修理費が今年度500万円ほど予定しておりますので、その分が増えています。黒塚古墳及び展示館整備事業についても展示館の屋根の修理で少し増えているところと、黒塚展示館展示解説等更新・多言語化業務委託が新規となっているところは、令和元年度予算に載っているのですけれども、こちらは去年の予算査定でゼロとなっていますので、今年もう一度新規として計上しています。

大きなところは、指定文化財の保護事業費で増えているのですが、こちらは石上神宮の国宝である拝殿や長岳寺の庫裏などの修理が令和2年度、令和3年度について修理を行われまして、市から補助金交付要綱により補助金を交付しますので、その分が今年度は増えております。合計7,333万6,000円の歳出で、昨年度より1,397万5,000円の増となっております。

以上です。

1 教育総合センター所長

失礼します。教育総合センターです。

教育総合センターは、歳入はありません。歳出、センター運営事業費ですが、会計年度任用職員の報酬見直しに伴い34万1,000円の増額になっています。1,372万8,000円を計上しています。

それから、センター維持管理事業費については5万8,000円の減額で、212万8,000円を計上しています。合計1,585万6,000円の計上となっております。

以上です。

1 図書館長

図書館から説明をいたします。歳入については、今年度と同様の4万2,000円、コピーのサービス使用料となっております。

続きまして、19ページに歳出がありまして、今年度と比べまして60万円の増額となっておりますが、これは新年度からの会計年度任用職員制度の開始に伴う報酬や交通費の増額、また図書館の利用カードの増刷に伴う印刷費を計上したためです。

その他は全体として概ね今年度と同様でして、要求額が2,163万

7,000円となっております。

以上です。

1 市民協働・女性活躍推進課長

続きまして、市民協働・女性活躍推進課です。歳入について、20ページです。令和2年度の要求額、28万6,000円となっております。こちらは、公民館使用料、敷地内に立っています電柱・支柱の使用料、私用電話料となっております。

続きまして、歳出、21ページです。まず、公民館運営事業として、新年度要求額が1,677万7,000円、前年度比としまして127万1,000円の減となっております。こちらの減の主な原因としましては、事項の上から3つ目の各種教室講師料の謝礼等で約50万円、それからその下の自動車借上料で約80万の減となっているところが大きな原因となっております。各種教室の講師謝礼については、講師謝礼を市が負担する文化教室から自主的な活動クラブに移行することに伴いまして、講師謝礼が不用となったことに伴うものです。また、自動車借上料については、高齢者学級や女性学級の館外研修を合同で行うことによりまして、経費の削減に努めたものです。

続きまして、公民館維持管理事業です。新年度要求額2,277万6,000円、前年度比323万9,000円の減となっております。こちらも減の主な理由としては、事項の上から4つ目、管理業務委託料の減が約150万円あります。こちらは、平成28年に新櫟本公民館がオープンして以来、祝日、ゴールデンウィーク等でハイカーに対応するために休館日に開館をしていました。こちらは、シルバー人材センターに委託をしていましたが、ここ数年の実績から精査した結果、回数を減らしたことに

より減少させることができたものです。

続きまして、次ページ、こちら2次要求ですが、公民館施設整備事業、こちらは1,234万円の要求としています。内容については、前栽公民館の既存エレベータの制御盤の交換工事、また嘉幡町自治会館の公民館整備費の補助金の金額となっています。

以上でございます。

1 教育長

ありがとうございました。では、質問のほうに移らせていただきます。課別ということでも、教育総務課の説明に対して質問等はございますか。

名倉委員。

1 名倉委員

6ページの幼稚園維持管理事業ですけれども、480万ほどの減になっている理由としましては何がありますか。増の項目もあるのですが、全体的に減っているというのは園児数が減ったというのも理由になりますか。

1 教育総務課長

幼稚園の維持管理事業費で減額となりました主な原因は、会計年度任用職員という制度があります。この制度については、令和2年4月からこれまで天理市では臨時職員という採用の仕方と日々雇用の職員という採用の仕方がありましたが、国が一元化し全国的に会計年度任用職員という制度を設けまして、この4月から始まるのですけれども、その中で今までつかなかった交通費が、ついたりするという内容があったので交通費の増というのを計上いたしました。幼稚園の場合は、

保育サポートの方で預かり保育していただいて、短時間の勤務の方がいらっしやいます。その方々はこれまででしたら日々雇用職員として任用し、賃金という項目で支出しており、これについてある一定の金額を確保していたのですけれども、この会計年度任用職員の制度は人件費が増大していくような形にどうしてもなってしまいますので、その部分について見直しを行いまして、特にその業務に支障があるような減らし方ではありませんが、減額になっているということです。

1 名倉委員

はい。わかりました。

もう一つ、7ページの中学校整備事業ですが、先ほどの説明で北中学校は本体工事が入っていないということでした。南中学校は本体工事も含んでいるということで、この差額3億円あるのですが、この時間差というのが、今回の予算に北中の本体工事が入っていない理由は何かありますか。

1 教育総務課長

当初、この両校の中学校の整備工事については、南中学校を先行して行っていたのですが、やはり耐震化の問題がさまざま県内でもありましたので、北中学校についても至急行うということで前倒しをしています。ただ、その基本設計、実施設計という設計をする時間が必要ですので、南中学校については先行して進んでいたのですが、北中学校については、急いではいますが、やはり時間がまだかかるということで、この当初予算にはまだその本体工事が間に合っていないということです。

1 名倉委員

業者はもう決まっているのですか。

1 教育総務課長

建設する業者は、どちらの中学校もまだ決まっておりません。

1 名倉委員

選定方法は入札になりますね。

1 教育総務課長

はい。入札です。

1 名倉委員

学校訪問等で学校へ行かせていただいた時に感じるのですが、入札制度を重要視するのはもちろんわかっているのですが、やはり業者によって校舎の傷み具合がかなり違ってくるということもあります。何十年経過したときにそれが顕著にわかりますので、業者の選択というのは難しいなということを感じました。もちろん入札制度ですので金額が重要なのはわかっているのですが、しかしその業者の取組とかそういうところも少し考えながら選んでいただきたらと思っています。

以上です。

1 西田委員

会計年度任用職員ということで、それぞれの部門によって交通費の手当がつくということがこれからあるということですが、そうしますと、その手当については自治体ごとの判断で手当がついたりつかなかったりという判断がされるのか、ある程度基準があるのでしょうか。

1 教育総務課長

会計年度任用職員の制度については、これまで各自治体で非正規の雇用の形態というのは差があったのですが、これを全国的に統一するような制度でして、日本全国同じような手当ということになります。額については、それぞれの財政状況にも応じて差があるかとは思いますが、項目については基本的に同じものです。

1 西畑委員

平成31年度要求の時には、幼稚園建設事業として1,900万円程度の要求があったと思うのですが、これは通らなかったのですか。また予算化されたのであればもう行ったのですか。

1 教育総務課長

令和元年度予算についていましたのは、幼稚園の耐震化の予算でして、実際にはついていません。その事業については、どうするかまだ今設計の段階でしたので、他の事業の兼ね合いもありまして今、考え中ということです。

1 西畑委員

ここに載せていないのは何か理由があるのですか。

1 教育総務課長

今年度、幼稚園の項目がなかったので載せていませんが、差としては入れています。

1 西畑委員

できれば、前年対比のために入れていただきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

1 教育長

次、まなび推進課に、移ります。まなび推進課の説明で質問はありますか。

1 吉田委員

9ページの姉妹都市友好事業の中学生派遣事業というのは、派遣先、規模はどのように考えていますか。

1 まなび推進課付課長

瑞山市に3年に1回派遣することになっています。実は、今年派遣の年で派遣する予定だったのですが、国の情勢の関係で急遽取りやめになりました。もし情勢が改善すれば、次回にということになっていましたので、令和2年度にもう一度予算要求を計上しています。派遣場所は瑞山市だけです。規模としては、8名を予定しています。

1 西畑委員

10ページの中学校運営事業です。85万8,000円というところが、これはおおよそ消耗品であるというところで、その他は減額できないような項目ばかりです。恐らく消耗品のところで大幅に減額されているのではないかなと思うのですが、その消耗品費というものをこれだけ減額しても大丈夫なのですか。85万といたら大きな数字に思いますが。

1 まなび推進課長

こちらについては、問題ないように予算を組ませていただいています。消耗品費の減額の内容につきましては、前年に採択した教科の教師用の教科書が減額になったものです。中学校の教科書は来年度採択で、その次に採択替えになりますので、もう一切教科書は買いません。

同じ教科書でまた新しいのを買っても1年しか使いませんので、指導書についても買わないということです。

1 西畑委員

毎回というか、採択の度に消耗品費が増えたり減ったりしていますが、今回は小学校のところで出ています。その小学校運営事業の消耗品費・印刷製本ですね。これは、項目を分けていただいたほうがわかりやすいのではないですか。項目をたとえば教師用指導書等にしてその部分だけ別立てにいただいたほうが、この議論がなくて済むという気がしますがいかがですか。

1 まなび推進課付課長

決まった歳出がありますので、節の需用費の中で1が消耗品といったように、決まった歳出名称がありますので、消耗品の中でさらに分けるというのはちょっと検討しないと難しいですね。

1 西畑委員

そうであればもう一つとしては、摘要欄のところに減額の理由として、前年はこれがあったが今回はないとか、そういう説明を入れていただけるとわかりやすいです。

1 名倉委員

1 1 ページの、幼稚園運営事業ですが、預かり保育サポート謝礼があと残り4園の分も見越して増となっているということで、今年度に残り4園、預かり保育一斉スタートですか。

1 まなび推進課長

予定としては来年度から全ての園で一斉に実施していきたいと考えています。

1 名倉委員

わかりました。もうそれは周知されているのですか。

1 まなび推進課長

園長には伝えてはいますが、まだ予算が通過するまでは保護者等には周知できません。全部条件整備が済んでからでないと言えません。

1 名倉委員

条件整備が済むのはどのぐらいの時期になりますか。

1 まなび推進課長

3月にこの予算通ってから正式には4月1日になります。

1 事務局長

今月中、1月末には市長査定も終わりますが、あとは議会の議決をいただかないといけないというのがありますので、準備は進めていけるとは思いますが、まだすべてオープンではなかなか言えない部分がありますけれども、準備は進めていきたいと思っています。

1 名倉委員

わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

よろしいですか。では、文化財課について質問はありますか。

1 西畑委員

昨年の要求時のときに、東乗鞍古墳等三次元測量業務委託という項目で500万円ほどの要求があったと思うのですが、これは今回このリストに載っていませんね。

1 文化財課長

もう終了しています。

1 西畑委員

それはもう執行されているのですか。

1 文化財課長

はい。

1 西畑委員

終わっている分でも、去年のときには、去年終わりましたという項目も載せていただいていたので、同じようにしていただけるとありがたいです。

1 文化財課長

わかりました。

1 名倉委員

16ページの、黒塚古墳の関係のところ、新規として展示解説等更新と多言語化業務委託というのがありますが、天理市内で来館者数としては黒塚古墳が一番多いですか。

1 文化財課長

そうですね。平均1万5,000人ほどはあります。その中の2%程度が外国の方ということで、その方々に今も自作で英語版を何とかして作ったものをカラーコピーしてそれをお配りしているのですけれども、どうしても今展示館には1人しか常駐していませんので、なかなか一人一人には対応が難しいです。本来掲示しているところに英語版の掲示をするなり、スマホを使った翻訳なり、いろいろな方法があると思うのです。そういった形で外国の方にも楽しんでいただけるような多

言語化をさせていただきたいのですけれども、なかなか去年は予算要求が通らなかったもので、今年も新たにさせていただいています。

1 名倉委員

わかりました。また、この解説等更新というのは、これはどういったものですか。

1 文化財課長

展示館を建てた当時の解説版ですので、研究が進みましたら少しずつ内容も変わってきていますので、古い解説よりも最新の情報を掲載して、ある程度大きく変わった部分は更新していかないと、いつまでも古い情報だけを提供していくのは具合が悪いと思いますので、内容も更新する必要があるということで予算計上しているものです。

1 名倉委員

わかりました。黒塚古墳というのは目玉になりますので。

1 文化財課長

そうです。これからまた県の芸術家村もできたら、ハイカーの方たちや観光の方もたくさん、外国人の方もたくさん来られるのではないかと予想を県でもされていますので、それに対応して多言語化はやはり必要ではないかということで、今回も要求しています。

1 名倉委員

わかりました。多言語というのは中国語もありますか。

1 文化財課長

中国語と韓国語と英語と一応3つを予定させていただいています。

1 名倉委員

3つですね。わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

次、教育総合センターの説明について質問はありますか。

1 西畑委員

昨年の要求時のところで、特別支援教育関連事業というところ、昨年度の要求額が115万8,000円だったのですが、今年は50万と大幅に下がっています。これの要因を教えてください。

1 教育総合センター所長

今年度の会計年度任用職員報酬、上から3つ目のところに教育相談員69万6,000円を計上しています。これは昨年度はそこに含まれていた部分でして、昨年から特別支援教育相談をそれまで月曜日と金曜日の午後しか実施していなかったものを、毎日開設することになったことに伴って、その分教育相談の枠が減り、毎週水曜日、1日だけ教育相談員ということに変えました。今の実質的な勤務状況に合うようにということで、それまで特別支援教育関連の中に含まれていた教育相談員の部分を、別で水曜日に1日だけ出勤する教育相談員の会計年度任用職員報酬として挙げさせてもらっているということです。

1 教育長

次に図書館、何か質問はありますか。

1 西畑委員

2点教えてください。

1つは、歳入で4万2,000円の要求額ということになっていますが、実態はどうですか。

1 図書館長

実態はもうそこまでいきません。

1 西畑委員

いかないですか。例年どおりこの金額という感じですね。

1 図書館長

そうですね。1枚10円ですので。

1 西畑委員

結構な枚数ですね。

1 図書館長

日にもよりますが、1人の方が大量にコピーしておられることもありますし、それも予想がつかいませんので。大体毎日コピーされる方がいらっしゃいますので、それを大体見込んだの数字です。実際はここまではいつもいきません。

1 西畑委員

あと、それからもう1点、図書・新聞・雑誌等資料費というのが、毎年少しずつ削られていくという状況ですが、他の会議でも、もっと本を読むべきという話をしているにもかかわらず、この部分が減っていくというのは懸念される場所ですけれども、ここはどうでしょう。工夫はしていただいているとは伺っていますけれども。

1 図書館長

そうですね。令和元年度につきましては、約100万減ということで削減されたのですが、何とか次年度はこのぐらいでいっていただきたいなと思っているのですが、やはり新刊を入れないとなかなか魅力がありませんので、アンケートデータ等を予算も査定するときには用いて説明をさせていただいているのですが、昨年度の査定、今年度の分ですね。100万減という大きい金額でしたので、非常に厳

しいところなのですけれども、できるだけ選書や工夫をさせていただいて、できるだけ皆さんの需要に応えられるように努めているところ
です。

1 西畑委員

大変だと思いますが、ぜひよろしくをお願いします。

1 図書館長

ありがとうございます。

1 名倉委員

19ページの予算削減のことなのですが、毎日訪れる来館者のニーズ
というのがあると思うのですが、それに沿ってその予算削減を大体合
わせていると思うのですけれども、例えば、どの本を購入する、購入
しないとか、そういう基準というのはいくつありますか。

1 図書館長

選書に当たっての選書基準というのを、これは特に何か法律になっ
ているものではないのですけれども、各市町村で選書基準を設けてい
まして、内規ですけれども、以前司書で検討させていただいて、天理
市の図書館の選書基準を設けています。それに沿って選書をさせてい
ただいています。

1 名倉委員

購入費を図書と新聞・雑誌に分けますと、新聞・雑誌の割合はどの
くらいありますか。

1 図書館長

新聞・雑誌ですか。

1 名倉委員

新聞・雑誌というのは定期的に購入されると思いますが、発生する金額というのが、割合とかパーセンテージでいうとどれぐらいですか。

1 図書館長

今年度要求させていただいている分に関しましては、新聞に関してはほぼ毎年同じなのですが、朝日・毎日・読売といったところで、今年度要求させていただいているのが29万3,220円です。消費税が上がっていますので少し増額となっています。それと、雑誌購入費につきましては73万円です。そのうち、雑誌スポンサーでいつも助けていただいております。

1 名倉委員

その新聞ももう少し新聞社を絞るとかは、無理ですか。あと、雑誌のスポンサーをもっと募るとかは可能ですか。

1 図書館長

スポンサーの方は、また今年度も増やせるように努力させていただきたいと思っています。また新聞に関しましては、必要最低限といえますか、ほぼどこの図書館でも配置している新聞というのは、なかなかこの新聞をやめるとか、また逆に、新しい新聞を取ってほしいというふうな要望もあったりするのですが、なかなか増やすことは難しいです。今、よく読まれている新聞は、最低限置かせていただいている状況です。

1 名倉委員

わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

次、市民協働・女性活躍推進課に関して質問ございますか。

1 西畑委員

22ページの建設事業のところですか。前栽公民館既存エレベータ制御盤交換工事というのは、去年もほぼ同額の要求があがっていたと思うのですが、これは去年できなかったということですか。

1 市民協働・女性活躍推進課長

こちらは、去年要求したのですが、査定で落ちてしまいましたので、今回また要求をしております。

1 西畑委員

ぜひよろしく願いいたします。

1 教育長

他に質問はございませんか。よろしいですか。いろいろと工夫は必要ですが来年度よろしくお願ひします。それでは、議題第1号 令和2年度 一般会計歳入・歳出予算見積もりについては承認することといたします。

次に、議題第2号 令和2年度 天理市教育方針について（案）の説明を教育総務課からお願いいたします。

1 教育総務課長

議題第2号 令和2年度 天理市教育方針についての案を説明いたします。

とりまとめて教育総務課でこの冊子をつくっています。ご質問についてお答えするのは、各課からさせていただきます。ご了承願ひします。

では、表紙につきましては、令和2年度というところ以外は変更ありません。裏面の市民憲章は同じです。

令和2年度の天理市教育方針の文章の変更点でございますが、「市民憲章」の後ろ「及び天理市教育大綱」を追記しております。そのあとの、「人間尊重の精神を根ざした民主的な社会の実現と、新しい文化の創造に努める市民の育成」という部分を「一人ひとりが個性を伸ばし、お互いを尊重し、社会に貢献できる人づくり」に変更しております。

次の部分です。「我が国は国際化・情報化・科学技術の進展・少子高齢化等による」の部分を「未来を予測することが困難な」と変更しております。

また、「そのため」から以下のところの、「市民一体となって」というところを、「学校・地域・家庭が連携・協働して」と変更しております。

以下の1、2、3、4、括弧で書いております、この文章につきましては、次期教育大綱に合わせた変更をしております。

続きまして、学校教育の目標です。上の文章の「人間尊重の精神」のところを「自他の生命の尊重、他者への思いやりなどお互いを尊重する人権感覚」と変えまして、「変化の激しいこれからの社会を生きる」の部分を、「夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる「自ら考え、主体的に行動する力」や「人が人をつながり社会をつくる力」などをはぐくむ」と変更しております。

具体目標の2つ目の「確かな学力の育成」の部分です。「学習習慣の確立と」と続く文章のところを「基本的な知識・技能の確実な定着

及び思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うため、教師の授業力の向上を図り、確かな学力の育成を図る。」と変えております。

その下の星印のところでは、「考える力」のあとに「、読む力・書く力、論理的思考力」を追記し、「また、若手教員をはじめ、全教職員の指導力の向上を目指す。」という部分を削除しています。

その次、「たくましい心身の育成」のところでは、「進んで運動に取り組む力」のところを「楽しく運動やスポーツをする子どもたち」に変えております。

続きまして、社会教育の目標のところでは、具体目標の「まちづくりと地域コミュニティの育成」の星印の2つ目のところでは、「社会の変化に対応し、」のところを「社会の変化に対応できるよう、行政・地域・家庭との連携・協働により、未来を担う子どもへの教育に地域全体で取り組み、」に変えております。

文化財の部分につきましては、一つ目の星印のところでは、「次世代につながる文化活動」を「次世代につなげる活動」に変えております。

二つ目の星印のところ、「ふるさとの自然環境と文化遺産を愛し、豊かなふるさとを創造する市民の育成に努める。」を「豊かな自然と多くの文化遺産に囲まれたふるさとへの愛着と誇りを持ち、協働して課題解決や地域づくりに取り組む市民の育成に努める。」に変えております。

三つ目の星印のところでは、漢字の変更もございますけれども、「芸術文化的感性の醸成を図るとともに、その活動に寄与する人材の

育成に努める」と変えております。

最後の星印のところでは、「重要な文化財の保存と啓発を図り、また、公開活用など後世への継承につながる活動の推進に努める」と変えております。

変更したところは以上です。

1 教育長

今、説明ありました。何かご意見ございますか。

1 西畑委員

大綱のお話をしていたときに、社会教育として環境の話が出ていたと思います。ちょうど最後のページになりますけれども、「豊かな自然と多くの文化遺産に囲まれた」というところで、もう少し環境についての記述が入っていてもよかったかなとは思っています。文化財の保存があるので、自然の保存についてもふれてほしいと思いますがいかがですか。

1 教育長

社会教育における保存というと、いろいろなことを考えてもらうということで、保存も含まれるかもしれませんが保存とESDとは別のものでして考えています。アクションプランのほうにSDGsが含まれていて、各学校でESDの視点を置いて取り組んでもらっています。社会教育ということになると、全て人が対象になるので。

1 西畑委員

ちょうど社会教育の目標のところでは、従来なかった「未来を担う子どもへの教育に地域全体で取り組み」という記述が今回新たに入っていますので、より家庭と地域の結びつきのところを重視されているの

かなと感じますので、少子化にはなってきてはいますが、子どもの教育に軸足を置いて社会教育というものも考えていくと受け取れるなと思っています。この次のところが不登校、ニートといった話が出ていますので、地域みんなで子どもを育てるという話につなげていかれるのかなと読めます。また検討していただきたいと思います。

1 教育長

学校の現場で子どもたちに教えていくということは、先生方もそういった視点を持ってやらなければならないと思うのですが、また検討はしたいと思いますが今回はこの方針でお願いしたいと思います。

別のところですが、「確かな学力の育成」の2つ目の星印で、「自ら学び、考える力」と続いて、最後の「論理的思考力」がありますが、前の「考える力」と重複しているように思います。

1 教育総務課長

自ら学び、読む力、書く力、論理的思考力を培う授業づくりに変更するということですね。

1 教育長

論理的と思考力とは重複しているという考え方もありますが。

1 西畑委員

それはそれでいいと思います。考える力を抜いていただいて、あとは読む力、書く力、論理的思考力は大綱と合わせればいいですね。

1 教育長

次に、ご意見を伺いたいのですが、社会教育の目標のまちづくりと地域コミュニティの育成の2つ目の星印で、今まで学校・地域・家庭だったのが、行政が追加されています。こちらはどう思われ

ますか。

1 名倉委員

少し違和感があって、行政が一番に出てくる意味が何かあるのかな
と思います。

1 教育長

学校のかわりですね。

1 名倉委員

そうなのですね。行政という響きが主体が行政であるように聞こえる
のではないかという感じに受け取られるので、何かほかにないかと
ずっと考えていました。

1 西畑委員

この手前のところで、公民館はという記述があるので、公民館も
やっぱり入っていてほしい。

1 名倉委員

何か社会教育の目標の中の文章なので行政と入れられたのですかね。

1 教育長

そうも思ったのですが、行政と提案があったのでそのまま行政でい
きました。

1 名倉委員

行政を3つ目に入れるのではダメですか。

1 西畑委員

地域・家庭・行政、このほうが印象が違いますね。

1 教育長

よろしいですか。地域・家庭・行政で変えさせていただくというご

意見でよろしいでしょうか。

では、地域・家庭・行政でお願いします。

よろしいですか。それでは、議題第2号 令和2年度 天理市教育方針については承認することとします。

また、この方針とは別に県の教育方針に準じて作成する学校向けのリーフレットがございまして、そちらは県の方針が出次第、示させていただきますのでまたご意見をいただけたらと思います。

次に、議題第3号 天理市社会教育委員の委嘱についての案の説明を、まなび推進課からよろしくお願いします。

1 まなび推進課付課長

それでは、議題第3号の天理市社会教育委員の委嘱について（案）をご説明させていただきます。

23ページをご覧ください。天理市民生児童委員協議会から推薦をいただいていた岡本眞壽美様が民生児童委員を退任されました。このため、同協議会から仲西宗子様のご推薦がございましたので、岡本眞壽美様の委嘱を解いて、仲西宗様に委嘱する案を上程させていただきました。

なお、任期につきましては、前任者の在任期間であります令和3年7月9日までになっております。よろしくご承認ください。

以上、第3号の説明とさせていただきます。

1 教育長

ただいまの説明に何か質問はございますか。よろしいですか。

それでは、議題第3号 天理市社会教育委員の委嘱については承認されました。

続きまして、日程第3 報告に移ります。12月の市議会定例会の報告については、資料を事前に送らせていただいておりますので、読み上げは省略させていただき、委員からのご質問をお受けしたいと思っておりますので、何かご質問ございますか。

西畑委員。

1 西畑委員

31ページです。これは29ページの市本議員のご質問からというところですが、31ページのその異才の発掘というところですが、これは異才の発掘について市本議員から何かご質問があったということですか。

1 教育長

そうです。

1 西畑委員

異才の発掘はしないのですかとかいうような趣旨の質問ですか。

1 教育長

意図されているのは、東大で研究されている異才の発掘のことでハイレベルの能力を持った子どもたちを見つけてきて教育するというところについてのことを聞かれていました。趣旨は、その発掘して個性や能力を高めていこうということをおられて、また市本議員はそういうことに興味を持っておられまして、実際成人式の日には東大でそれについてのシンポジウムに参加されておられるようです。ただ、教育委員会としては、義務教育の範疇で公的にやるものには個性は1人ずつ大事にしたいですけれども、1人の子をまた違った教育をしようということではなくて、全ての子どもたちに指導要領に則ったレベルのものを身につけていきたいと考えましたので、ノーベル賞を受賞

された吉野先生に「ロウソクの科学」を紹介した担任の先生のように、影響力がある先生になりたいと答えました。

1 西畑委員

ありがとうございます。私も異才の発掘という話が、公教育のところで出てくるのも違和感があったのでお伺いしました。

1 教育長

私たちも影響力がある教師になりたいという考えで、教員全員それでやっていると思います。異才の発掘といったことは他の研究団体がしていただきたらと思います。やはり公教育をしないとイケませんので。

1 西畑委員

それもできればもちろんそれにこしたことはないですし、それに長けた先生がおられてということで、そういったことが起こることもあると思いますけれども、教育長がおっしゃるように全体に確かな教育をより多くの子どもたちにとというほうが、公教育の方向性としてはいいと思います。

1 教育長

ほかの委員の方、何か質問ございますか。

名倉委員。

1 名倉委員

33ページの小学校英語教育の充実についての英語専科が3人配置と、また次のページで3人のALTを配置していると載っているのですが、この専科の3人の先生というのは、どの小学校を担当するかがもう決まっているのですか。

1 まなび推進課長

はい。決まっております。

1 名倉委員

ALTは1人の先生も担当があるのですか。

1 まなび推進課長

はい。決まっております。現在は、5・6年生は全て専科で先生が授業していただいています。中学校籍に1人、小学校籍に2人、前栽小学校に1名と山の辺小学校に1名が籍を置いています。市内全部の小学校を回って、5・6年生は全てこの専科の先生で授業をしています。また、3・4年生は半分、2時間あったら1時間は専科の先生が授業をしています。

1 名倉委員

あとの半分は担任の先生が授業しているのですか。

1 まなび推進課長

担任の先生です。来年度もう1人いれば3・4年生も全て専科で授業ができるということで、4名にさせていただこうと、プラス1名ということで要求しているところです。

1 名倉委員

この専科の先生3人について、先生によっていろいろな特色、個性が出ると思うのですが、その3人の先生のすり合わせとか、そういったことはどんな感じでされていますか。

1 まなび推進課長

できるだけ頻繁に専科の先生に集まっていただいて、指導主事が入って会議を持っています。その中で、前栽小学校にいる浦という教諭

が長年英語専科の研修にずっと行っていましたので、彼を中心にいろいろプリントの作成とか、子どもたちへの振り返りの様子とか、そんなものも先生方に配りながら会議をしています。それと、ALTとのかけ合いですね。そんなのも研究しているところです。

1 名倉委員

わかりました。なるべく先生によって差が出ないようにといたしますか、その授業力とあと引きつける力、先生によって全然違うと思います。専科ですので、しっかりされているとは思いますが、差が出てくるところが危惧されるところです。ですので、そういう話し合いというか、専科の先生みなさんであとの見直しをきっちりとされて、成績にももし影響が出てくるようであれば、やはり悪いところを改善するとかいうことが一番大事なのではないでしょうか。

1 まなび推進課長

特に中学校籍の先生は、かたいところがあります。小学校の先生はやはりもう最初からずっと入っていきますので。2学期以降、ほかの先生の授業を見ながら頑張らせていただいております。

1 名倉委員

そうですね。中学校の先生が小学校の児童と接するのに、少しかたくなるというのはわかります。だんだんまた改善されるかなと思いますので、またよろしくお願いします。

1 教育長

ほかよろしいでしょうか。

1 吉田委員

33ページのユネスコスクールに対する認識というところですけど

も、今、ESDやSDGsのことは学校で任せているということで、各学校でそれぞれESD推進の手引きを参考に進めてくださいということですよね。天理市として、小学校ではどういうことをしてきて、中学校に入ったらそれをどうのようにつなげていくかというような、天理市版のESDの手引きというか、各学校から担当者が集まって現状どんなことをして、今後小中つなげてこんなふうにしていったらいいということを話し合っ指針をまとめるとか、そういうことはまだそこまでは至っていないということによろしいですか。

1 教育長

はい。ESDとSDGsということは紹介してはいたけれども、ESDの考えに沿った授業計画、ESDカレンダーをつくりましたということは12月に言いましたので、まず一旦見本でつくってみて、そこから進めていこうということになると思います。まだ、ひょっとしたらSDGsやESDを知らない教諭も出てくるとお思いますのでじっくりと進めていきたいと思っています。

1 吉田委員

これは小学校の教科でもなく教科全部にかかわることですが、中学校の教科にもどこかでするというものではなくて、全体でしていくのだから、やはり小・中が一緒に進めないとお難しいかなとお思います。

1 教育長

カリキュラムでどこにこのESDの考えを入れるとか、それをまずつくってくださいということでやっています。

1 吉田委員

今現在でも、例えばクリーンセンターに行って学習したり、水源を見

に行ったりとさまざまなことをしていると思うのですが、そこで学ぶことが小・中つながるようにできたらいいなと思いますね。

1 教育長

指導主事からいろいろ指導はしていただいていると思いますし、指導主事の意見を生かして、まず、9年間のカリキュラムをしっかりつくっていかなければならないので、既存のものをもう少し補完できるようにしてもらおうと思っている段階です。

ユネスコスクールは、頑張っって何とか複数の小学校で挑戦していきます。

1 吉田委員

給食費の公金化については、今回は年数これぐらいの準備期間というのを示していただいて、次は目途を示していただいて、頑張っっていただけたらありがたいなと思います。

1 事務局長

公金化は、再度のご質問が議員からありまして、いろいろ研究もさせていただいているところですが、スケジュールまた財政面の部分というのにも必要になってきますので、国が示されているガイドラインを見る限り、やはり2年間でできるのか、それが1年でできることもあろうかとは思うのですけれども、とりあえずスケジュールに則って着実にいろいろなことを周りを見ながらやっていけたらなと思っていまして、議会のほうではそういった答弁させていただきました。

1 吉田委員

ありがとうございます。

1 教育長

そのほかよろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして、本日の定例教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会 午後 3時23分